



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月28日

上場会社名 株式会社システムリサーチ 上場取引所 東
 コード番号 3771 URL <https://www.sr-net.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）平山 宏
 問合せ先責任者（役職名）執行役員広報室ゼネラルマネージャー（氏名）太田 吉信（TEL）052-413-6820
 半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（投資家およびアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	12,635	11.7	1,221	2.9	1,238	2.4	900	0.2
2024年3月期中間期	11,308	7.8	1,186	11.0	1,209	13.0	898	88.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 901百万円（0.0%） 2024年3月期中間期 901百万円（138.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	54.21	—
2024年3月期中間期	53.76	—

（注）当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	15,584	10,535	67.4
2024年3月期	16,145	10,524	65.0

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 10,517百万円 2024年3月期 10,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	40.00	40.00

（注）1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。2024年3月期については、当該株式分割前の実際の配当を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,718	14.5	3,084	14.0	3,114	12.4	2,198	11.6	131.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	16,720,000株	2024年3月期	16,720,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	154,224株	2024年3月期	4,224株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	16,608,633株	2024年3月期中間期	16,715,935株

(注) 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2024年11月14日（木）に投資家およびアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、当日中に当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	
① 生産実績	10
② 外注実績	10
③ 仕入実績	10
④ 受注実績	11
⑤ 販売実績	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原材料価格の高騰による物価上昇の影響が続く状況ではあったものの、インバウンド需要の増加や、賃上げによる実質賃金がプラスに転じたことなどにより国内消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調となりました。一方で世界的な金融引き締め継続や原材料・エネルギー価格の高騰、海外景気の下振れ懸念や物価動向に関する不確実性などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、経済産業省より発表された「特定サービス産業動態統計」によると、2024年8月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比3.7%の増加となりました。内訳では主力の「受注ソフトウェア」は同6.9%の増加、「ソフトウェアプロダクト」は同10.0%の減少、「システム等管理運営受託」は同1.8%の増加となり、業務内容により増減が分かれるものの、DX(デジタルトランスフォーメーション)技術を活用した業務改革・事業拡大に向けての製品開発やレガシーシステムの刷新など、企業のIT投資意欲は引き続き旺盛であることを示しております。

こうした経営環境の中、当中間連結会計期間においては、当社の主要顧客である自動車関連事業からのIT投資需要が堅調に推移し、SIサービス業務の売上高は5,071百万円(前年同期比18.4%増)となりました。また、ソフトウェア開発業務の売上高は、既存顧客からの継続受注を安定的に確保できたことにより、6,938百万円(前年同期比7.0%増)となりました。パッケージソフト販売等のソフトウェアプロダクト業務におきましては、通販業向け販売・顧客管理ソフト「Simplex」や既存顧客への保守売上などにより売上高は214百万円(前年同期比18.9%増)となり、商品販売ではパソコン・情報機器、ソフトウェア等の商品仕入れ販売の売上高220百万円(前年同期比11.4%増)、その他のWEBサイトの運営ならびにクラウドサービス(SaaS)等での売上高は、ネットショップ作成・運用クラウドサービス「イージーマイショップ」の新規開設数、流通金額が増加したことなどにより190百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

利益面におきましては、顧客企業のIT投資は堅調に推移しており、技術者の稼働率も高い水準を維持しております。一方、対前年同期比で採用活動の強化による募集費や教育の拡充による研修費、広告宣伝費など費用が増加したため、前期より営業利益率が低下しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における連結業績は、売上高12,635百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益1,221百万円(前年同期比2.9%増)、経常利益1,238百万円(前年同期比2.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益900百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況の分析

当中間連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したことなどにより、15,584百万円(前期末比561百万円減)となりました。

当中間連結会計期間末の負債は、短期借入金が増加したものの、流動負債その他、および賞与引当金が減少したことなどにより、5,049百万円(前期末比571百万円減)となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、剰余金の配当を行ったものの、利益剰余金が増加したことなどにより、10,535百万円(前期末比10百万円増)となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ721百万円減少し、7,599百万円(前年同期末は7,486百万円)となりました。

また、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、287百万円(前年同期は798百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,238百万円などの増加要因が、賞与引当金の減少額292百万円および法人税等の支払額366百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、244百万円(前年同期は207百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出188百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、764百万円(前年同期は439百万円の減少)となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入840百万円、長・短期借入金の返済による支出713百万円や配当金の支払額668百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期中間連結会計期間および通期の業績予想につきましては、2024年5月8日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,326,378	7,599,707
売掛金及び契約資産	4,585,551	4,762,078
商品	1,771	2,577
貯蔵品	6,497	6,479
その他	68,992	104,125
流動資産合計	12,989,191	12,474,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	811,906	792,205
土地	1,133,800	1,135,400
その他(純額)	79,340	69,147
有形固定資産合計	2,025,047	1,996,754
無形固定資産		
のれん	180,219	147,452
ソフトウェア	159,966	181,361
その他	7,956	7,822
無形固定資産合計	348,141	336,636
投資その他の資産		
その他	783,358	776,270
投資その他の資産合計	783,358	776,270
固定資産合計	3,156,547	3,109,661
資産合計	16,145,739	15,584,628

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	945,181	995,737
短期借入金	—	176,000
1年内返済予定の長期借入金	780,510	763,830
未払法人税等	428,087	387,166
賞与引当金	1,266,018	973,677
その他	1,540,600	1,125,420
流動負債合計	4,960,397	4,421,831
固定負債		
長期借入金	661,086	627,784
固定負債合計	661,086	627,784
負債合計	5,621,483	5,049,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	9,434,561	9,666,441
自己株式	△1,571	△223,721
株主資本合計	10,500,689	10,510,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,183	6,873
その他の包括利益累計額合計	8,183	6,873
非支配株主持分	15,382	17,719
純資産合計	10,524,256	10,535,013
負債純資産合計	16,145,739	15,584,628

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	11,308,312	12,635,691
売上原価	8,788,047	9,892,851
売上総利益	2,520,264	2,742,840
販売費及び一般管理費	1,333,370	1,521,039
営業利益	1,186,894	1,221,800
営業外収益		
受取利息	9	120
助成金収入	24,490	21,085
その他	2,003	576
営業外収益合計	26,502	21,782
営業外費用		
支払利息	4,148	4,968
その他	3	—
営業外費用合計	4,152	4,968
経常利益	1,209,245	1,238,614
特別損失		
固定資産除却損	58	413
特別損失合計	58	413
税金等調整前中間純利益	1,209,186	1,238,201
法人税等	308,488	335,352
中間純利益	900,697	902,848
非支配株主に帰属する中間純利益	2,028	2,337
親会社株主に帰属する中間純利益	898,669	900,511

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	900,697	902,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	430	△1,310
その他の包括利益合計	430	△1,310
中間包括利益	901,127	901,538
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	899,099	899,201
非支配株主に係る中間包括利益	2,028	2,337

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,209,186	1,238,201
減価償却費	54,000	69,059
のれん償却額	32,767	32,767
賞与引当金の増減額(△は減少)	△227,835	△292,340
売上債権の増減額(△は増加)	136,294	△149,356
棚卸資産の増減額(△は増加)	△332	△787
仕入債務の増減額(△は減少)	18,398	43,827
その他	△24,547	△282,253
小計	1,197,931	659,116
法人税等の支払額	△395,613	△366,404
その他	△4,265	△5,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	798,052	287,676
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	5,000
有形固定資産の取得による支出	△166,478	△188,925
無形固定資産の取得による支出	△41,385	△60,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,863	△244,585
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	440,000	440,000
短期借入金の返済による支出	△264,000	△264,000
長期借入れによる収入	400,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△430,574	△449,982
自己株式の取得による支出	△81	△222,150
配当金の支払額	△585,059	△668,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△439,715	△764,763
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150,474	△721,671
現金及び現金同等物の期首残高	7,336,297	8,321,378
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,486,771	7,599,707

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	生産高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	5,071	118.4
ソフトウェア開発業務	6,938	107.0
ソフトウェアプロダクト業務	214	118.9
その他	190	113.6
合計	12,414	111.7

(注) 金額は、販売価格によっております。

② 外注実績

当中間連結会計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	外注高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	2,190	130.5
ソフトウェア開発業務	2,816	106.1
ソフトウェアプロダクト業務	52	129.7
その他	0	—
合計	5,059	115.7

③ 仕入実績

当中間連結会計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
商品販売	187	116.7

(注) 金額は、仕入価格によっております。

④ 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
S I サービス業務	5,836	117.7	3,074	115.6
ソフトウェア開発業務	7,306	112.3	2,819	115.5
ソフトウェアプロダクト業務	198	116.2	110	114.8
商品販売	204	120.6	24	121.6
合計	13,546	114.8	6,028	115.5

⑤ 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	販売高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	5,071	118.4
ソフトウェア開発業務	6,938	107.0
ソフトウェアプロダクト業務	214	118.9
商品販売	220	111.4
その他	190	113.6
合計	12,635	111.7

(注) 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
(株)トヨタシステムズ	1,742	15.4	2,215	17.5